

おきなご  
幼子の願いを託して

ひがし おお はし  
**東大橋**

福島県塩川町



地元住民が中心となって集めた寄付金により寄贈されたモニュメントを橋上に配置した。他親柱は蔵の形に似せ、高欄には町の花アヤメのレリーフを配するなど、地域の特色に配慮した整備を行っており、地域のシンボルとして親しまれています。



■概要

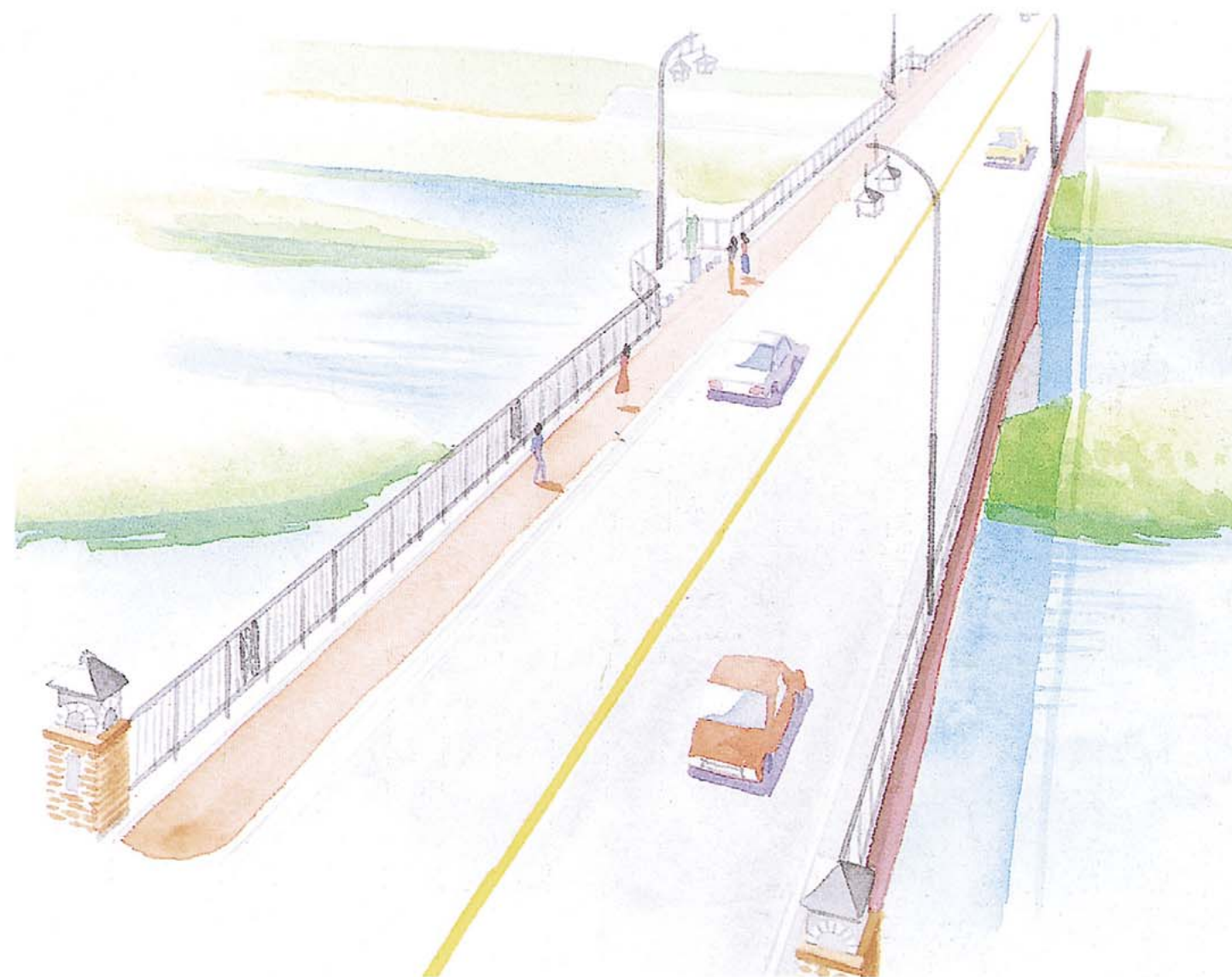
規模 橋長185.4m 幅員10.5m  
事業費 約758百万円  
施工年度 昭和56年～昭和60年  
所在地 福島県耶麻郡塩川町字東栄町  
その他 栄単独事業「文化のための1%システム」を適用



「春の譜」 女の子2人は、仲良く手をつなぎ、高く差出した手の小鳥と胸にだいている花は、大自然の美しさを表現し、はばたこうとしている鳥は、町の発展をあらわしています。

「夏の日」 男の子は、清らかな美しい塩川を象徴し、魚を手を持って、川魚のまち塩川を表現しております。

これらモニュメントは東大橋モニュメント設置実行委員から寄贈されたものです。



親柱は、会津北域の穀倉地帯の風景を象徴する蔵のイメージを装っています。



高欄には、御殿場公園に群生する町の花あやめのレリーフを配しています。